

科目名	刑法総論	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）
			法律学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Criminal Law General Principles	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	おかざき しょうへい	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	岡崎 頌平	修得単位	4単位
授業のテーマ	犯罪と刑罰に関する基礎知識の習得		
授業概要	本講義では、犯罪と刑罰に関する基礎知識を学習します。まず、刑法の基本原則を概観した後に、一般的な犯罪成立要件を確認しながら、あわせて犯罪成立を妨げる（阻却する）事由についても確認します。次に、刑罰論についても学習します。また、本講義では、主にレジュメに基づいて授業を行います。		
到達目標	受講者は、本講義を履修することによって、刑法の基本原則、犯罪と刑罰に関する基礎知識の習得ができます。		
授業時間外の学習	予習：各回の授業で扱う内容についてテキストの該当箇所をあらかじめ読む 復習：レジュメ等を用いて、各回の講義内容を振り返る		
履修条件	憲法入門、民法入門、刑法入門が履修済みであること（なお、いずれも単位を修得済みであることが望ましい）。		
授業計画			
第1回	イントロダクション	第17回	正当防衛②
第2回	刑法の意義・機能	第18回	緊急避難
第3回	刑法の歴史①	第19回	責任主義
第4回	刑法の歴史②	第20回	責任能力
第5回	罪刑法定主義①	第21回	故意・錯誤論①
第6回	罪刑法定主義②・刑法の適用範囲	第22回	錯誤論②・違法性の意識
第7回	犯罪論の体系	第23回	過失・期待可能性
第8回	行為論・構成要件論①	第24回	未遂①
第9回	構成要件論②・犯罪の分類	第25回	未遂②
第10回	因果関係論	第26回	共犯①
第11回	不作為犯	第27回	共犯②
第12回	違法性論①	第28回	共犯③
第13回	違法性論②・法令行為	第29回	罪数論
第14回	正当業務行為・被害者の同意①	第30回	刑罰論
第15回	被害者の同意②・安楽死・尊厳死	第31回	定期試験
第16回	正当防衛①；中間試験		
テキスト	井田良『入門刑法学・総論』有斐閣(2013年)		
参考文献・資料	十河太郎ほか『刑法総論判例50!』『刑法各論判例50!』有斐閣(2016年・2017年)；山口厚ほか『刑法判例百選I総論[第7版]』有斐閣(2014年)；西田典之ほか『判例刑法総論[第7版]』『判例刑法各論[第7版]』有斐閣(いずれも2018年)；井田良『講義刑法学・総論[第2版]』有斐閣(2018年)；木村光江『刑法[第4版]』東京大学出版会(2018年)		
成績評価の方法	試験70%(中間試験30%、定期試験40%)、小テスト30%		
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)		

	※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。
オフィスアワー	月曜日 13 : 00～14 : 30 ; 木曜日 14 : 40～16 : 10
学生への メッセージ	予習でテキストを読む際には、ぜひ疑問点などをメモして、講義に臨んでください。 また、講義の際には必ず六法（小型のものでかまいませんが、最新のもの）を持ってきてください。